

# 台湾電力主催、LLW 関連セミナーにおいて講演

低レベル放射性廃棄物処分技術等に関する日本の最新動向を発表

2024年7月26日、台湾電力国際会議場（台湾・台北市）で開催された「2024年度低レベル放射性廃棄物処分技術研究計画に係る国際共同審査検討専門家セミナー」（2024 International Collaborative Review Expert Seminar on Low-level Radioactive Waste Disposal Technology Research Plan）において、当社の河西基（原子力バックエンド事業部・理事）が登壇、講演を行いました。

台湾電力が主催する当セミナーは、低レベル放射性廃棄物（LLW）の最終処分事業に関する技術調査研究に関する国際ピアレビュー審査委員会の終了後に設けられたもので、台湾電力、SINOTECH Engineering Consultants, Ltd.（中興工程顧問股份有限公司、以下 SINOTECH 社）、ITRI（工業技術研究院）など、台湾で LLW 処分技術分野に関わる専門家・技術者ら約 40 名が参加しました。

レビュー審査員の一人でもある河西は、台湾電力の廖英辰原子力バックエンド管理部門長による開会挨拶に続き最初の講演者として登壇し、「日本における LLW 最終処分に関する新規規制基準の制定」、「新規規制基準への対応を考慮した LLW の浅地中処分施設の事業許可申請に関連する技術的特徴と進展」、「新規規制基準に対応する日本原子力学会標準の整備の最新動向」について、概説的な技術内容紹介の講演を行いました。1 時間におよぶ講演のち、10 件ほどの質疑応答があり、有意義な意見交換の場となりました。

## ■バックエンド技術分野における当社と台湾との技術協力関係について

当社は、台湾の大手建設系エンジニアリングコンサルティング会社である SINOTECH 社と台湾におけるバックエンド技術分野に関する包括的技術協力協定を 2015 年 10 月に締結し、密接な連携を続けています。

また、原子力・バックエンド事業全体の実施主体である台湾電力公司や台湾の国立研究機関である ITRI（工業技術研究院）、NARI（国立原子力研究所）などとも 10 年以上にわたる技術交流を行うなど、日台バックエンド分野での継続的な連携協力において重要な役割を担っています。

台湾では、全ての原子力発電所の運転を 2025 年までに終了し全て廃止措置に移行するという方針のもと、低中レベルおよび高レベルの放射性廃棄物処分事業の進展が重要な課題の一つとなっています。放射性廃棄物処分事業は、サイト選定から調査・設計・安全評価、建設、操業、閉鎖を経て事業廃止に至るまで長期の取り組みが必要であり、当社は今後も台湾との長期的な視野での協力関係を強化していきます。

以上